



高等部 国語科 一題材の実践事例

題材名：『クラフト工房フトク』で、手順の前後関係や様々な条件を読み取り、紙細工を完成させよう

授業者：播磨 久美子

学習指導要領の段階と内容	中学部 1段階 C読むこと	題材目標	知・技 『クラフト工房フトク』で、紙細工の手順書を作る時、それぞれの手順の内容が表す結果の前後関係がわかり、順不同で並んでいる三つの手順を正しい順番に並べ替える。
知・技 ：イ(ア)事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。 思・判・表 ：イ語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。 学 び ：言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。			思・判・表 様々な紙細工の手順を読む時、それぞれの手順の内容が表す結果を考え、手順同士の前後関係を判断し、三つの手順を正しい順番に並べ替えて手順書を作り、手順書の通りに紙細工を作る。
			学 び 手順を正しい順番に並べ替えて、紙細工を作る課題に繰り返し正しく取り組む。

教材と仕組み

教材名：『クラフト工房フトク』…順不同の手順を正しい順番に並べ替えて手順書を作り、手順書の通りに工作をすることで、規格通りの紙細工が完成する仕組み

- ①手順(順不同)を読む。
- ②前後関係を考え、手順を並べ替え、手順書(仮)を作る。
- ③手順書(仮)の順に、紙細工を作る。
- ④規格通りの紙細工が完成!

観 点 別 評 価	知・技 「折りに沿って切る」「折り紙とはさみをとる」「三角形に折る」などの順不同に並んでいる三つの手順を正しい順番に並べ替えることができた。
	思・判・表 順不同で並んでいる様々な紙細工を作るための三つの手順を正しい順番に並べ替えて手順書を作り、手順書の通りに紙細工を作ることができた。
	学 び 手順を正しい順番に並べ替えて、紙細工を作る課題に繰り返し正しく取り組む姿が見られた。

関連する授業づくりの手順

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

R研で毎時間の授業の評価・改善

ポイント 手順同士の前後関係を理解するための題材計画の工夫

一つひとつの手順は、こんな内容なのか：じゃあ、この順番かな

この手順の通りに作ると、これができる：と言うことは、こっちが先だ!

あれ?この順番じゃ作れないな：という事は並べた順番が間違っていたのか

一つひとつの手順をしっかりと読んで内容をイメージすると前後関係を判断できるようになったよ!

手順の内容と前後関係を**動画**で確認。→順番を判断して手順を並べ替える。(2~3時間目)

それぞれの手順の内容が表す結果と対応する**写真**を提示。(3~4時間目) →手順の前後関係を判断して手順を並べ替える。

順番を間違えて並べた際には、並べた通りに作ってみる。→正しい順番に気づく。

順番を判断して、手順を並べ替える。(動画・写真なし)

ポイント 主体的に取り組むための教材の工夫

たなばたかざりとかざぐるまが完成した! 小学部で使ってもらおう!

小学部のみなさんに協力をしていただいて、たなばた会の飾り作りや、休み時間に遊ぶためのおもちゃ、壁面飾りなどを依頼品として作成しました。

自分たちが作ったもので楽しく遊んでもらった様子を動画や写真で見、活動に意欲をもつ。

考察

○自分で並べ替えた手順書を使って、実際に紙細工を作ることで正誤を確かめたり、教師が並べ替えた理由を尋ねる、できたことを具体的に認めるなどの働きかけをしたりすることで、生徒が課題意識をもって活動に取り組み、「文をよく読む」「文と文を比べて前後関係を考える」「自分から文を読んで紙細工を作る」などの姿が多く見られるようになったと考える。本実践では、手順が三つの手順書を扱ったが、日常生活で使用する手順の数が多い説明書やレシピを読むことにつなげていくために、手順の数を増やした手順書を扱う題材を設定する必要があると感じた。